

投稿規程

メタデータ	言語: ja 出版者: 公開日: 2024-06-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://otsuma.repo.nii.ac.jp/records/2000185

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



投 稿 規 程

投 稿 資 格：大妻女子大学コミュニケーション文化学会会員であること。

投 稿 原 稿：未発表の研究論文であること。

原 稿 字 数：16,000 字程度とする。

投 稿 方 法：データ入力を原則とする。

原稿の採否：会長が委嘱する編集委員会が決定する。

編集の実務：編集委員が行う。

著 作 権：「コミュニケーション文化論集」に掲載された論文などの著作権は、著者に帰属する。ただし、著作権者は、掲載論文などの電子化、大妻女子大学学術情報リポジトリにおける公開を許諾したものとする。引用図版などについては、公衆送信許諾確保の有無が確認できない場合は、その図版は web 上に公開送信しない。

(令和 4 年 5 月 16 日)

編 集 後 記

本年（2024 年）元日に発生した能登半島地震により、犠牲となられた方々にお悔みを申し上げるとともに、被災されたすべての方々、そのご家族に心よりお見舞い申し上げます。そして、被災地域の安全の確保と一日も早い復旧をお祈りいたします。

能登が大変な中、例年通り『コミュニケーション文化論集』第 22 号を無事刊行し、皆様方にお届け出来ること、大変嬉しく思います。刊行に際し、多大なるご協力頂いた教員・助手・学生の皆様に厚く御礼申し上げます。

コロナ下で、日常生活はおろか、教育・研究もままならない日々が 3 年以上続きました。様々な制限があったにもかかわらず、教員だけでなく、本学の卒業生（現・大学院生）・在校生（指導教員との共著）の研究成果も本号に掲載できたことは、喜びもひとしおです。

コミュニケーション文化学科の二系列の一つである「異文化コミュニケーション」関連の教育・研究に携わる筆者も、昨年（2023 年）、約 5 年ぶりに韓国・ソウルにて実地調査を行いました。短い日数での「弾丸出張」でしたが、実際に自分の足で歩き、目で見ると重要性を再確認しました。

一歩ずつ前へ進みながら、コミュニケーション文化に関する研究をより活発化させ、次号以降の更なる充実を図ってまいります。

(編集委員：松田 春香)